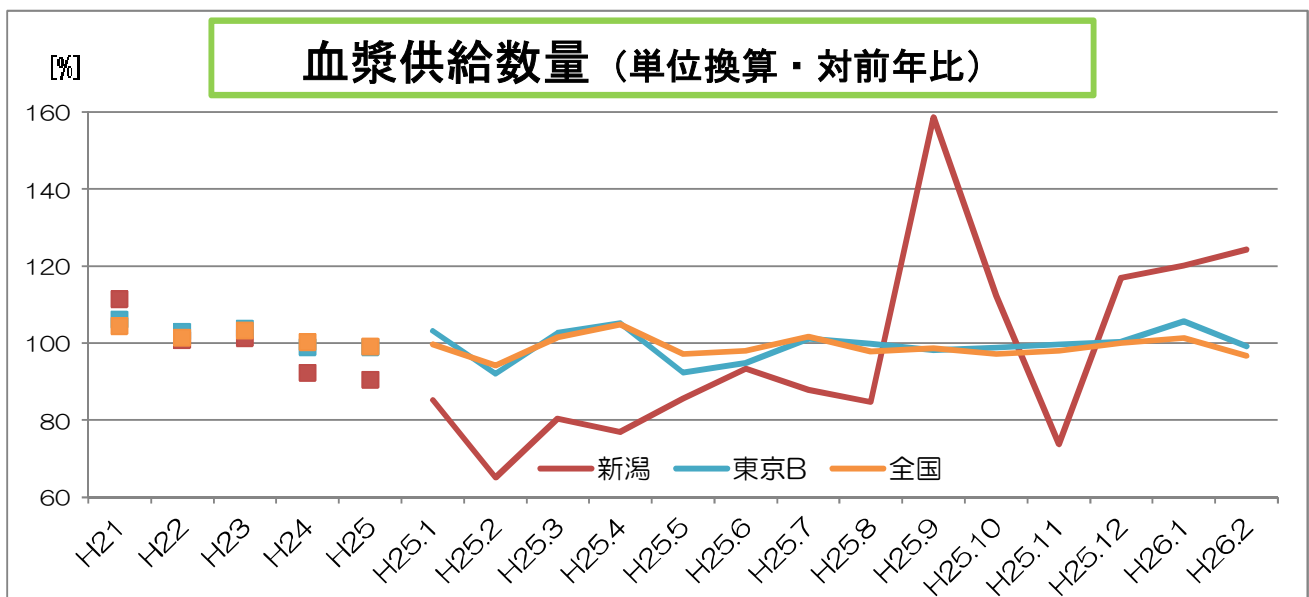
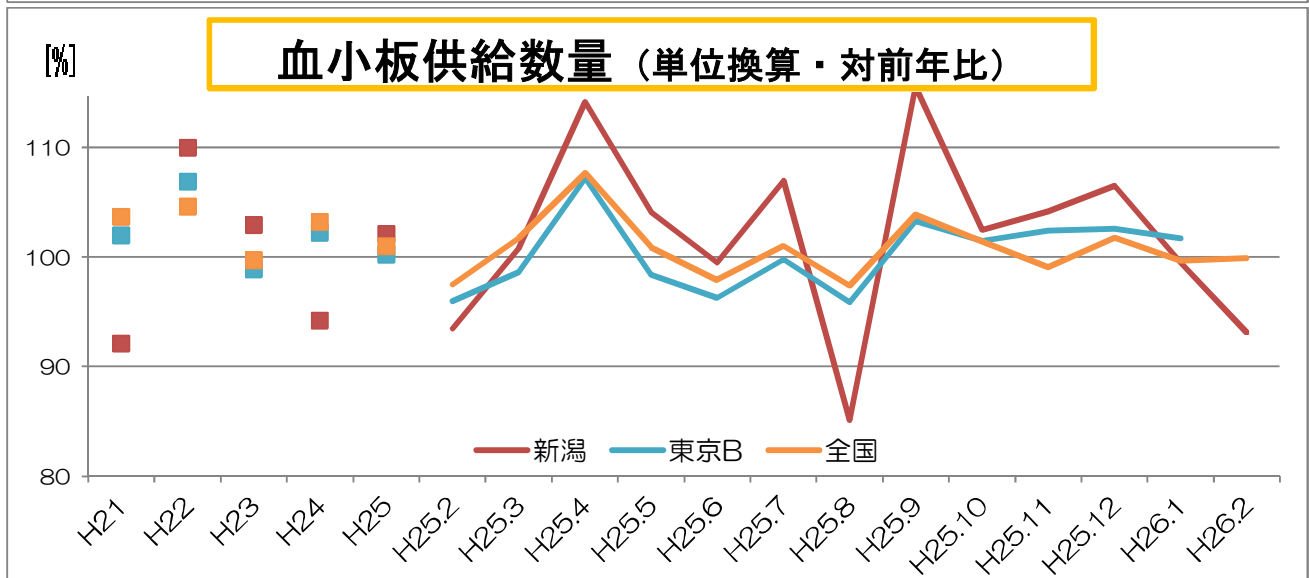
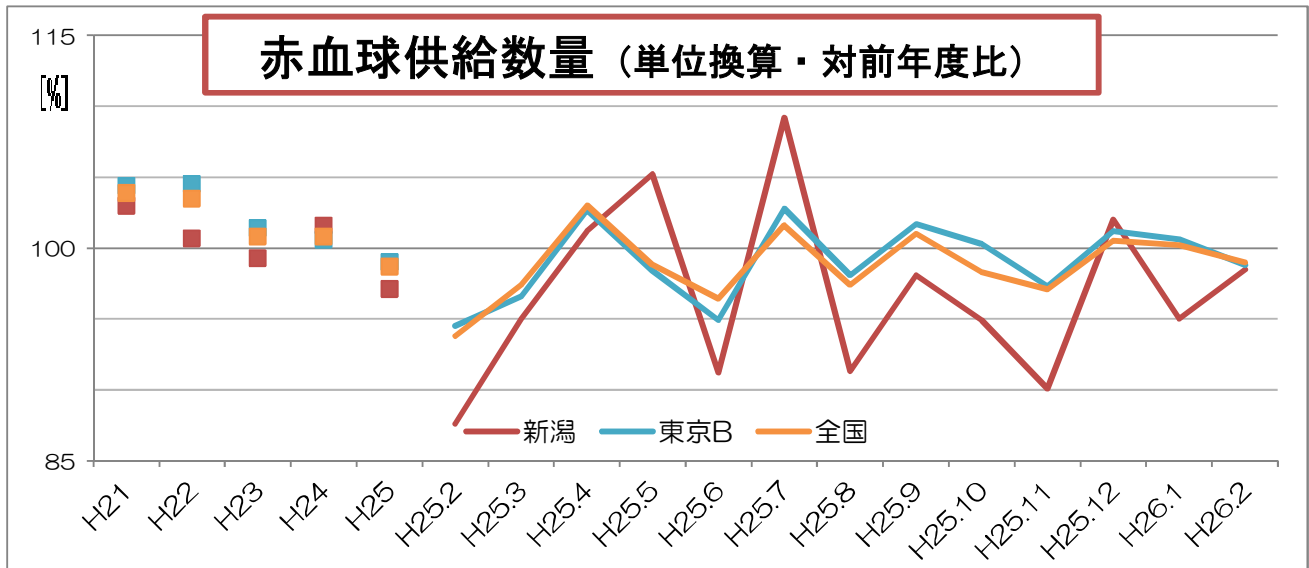
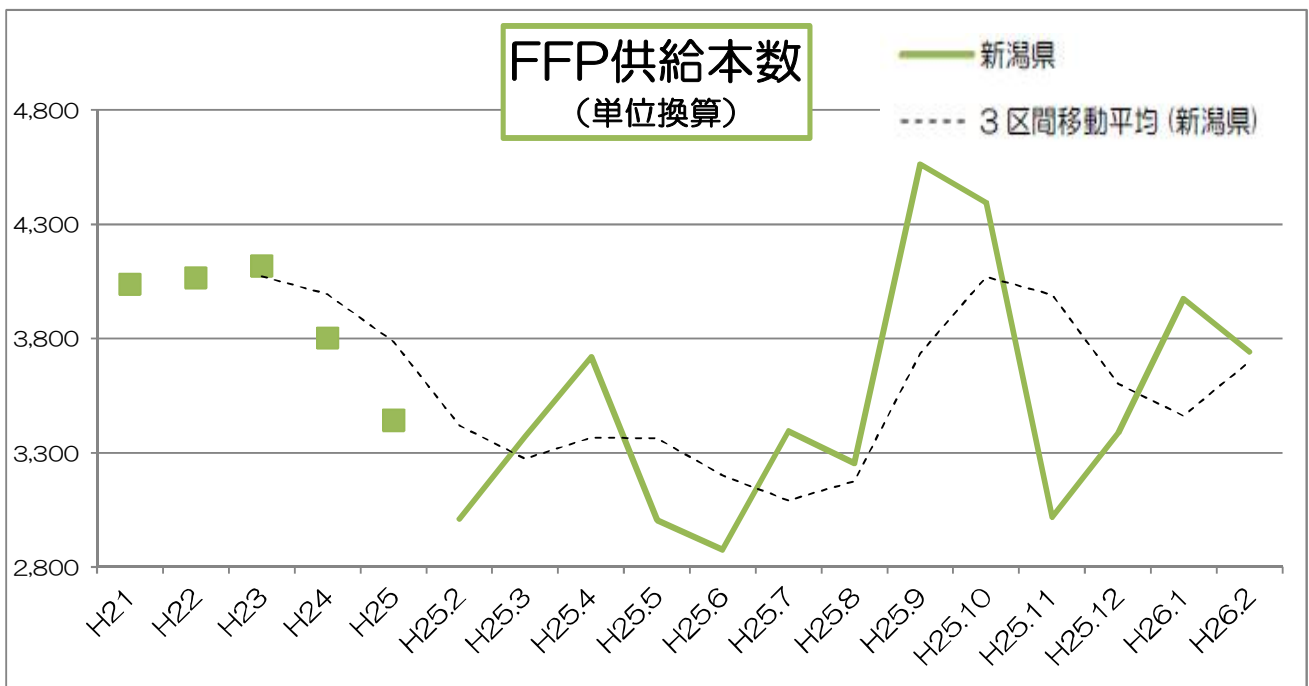
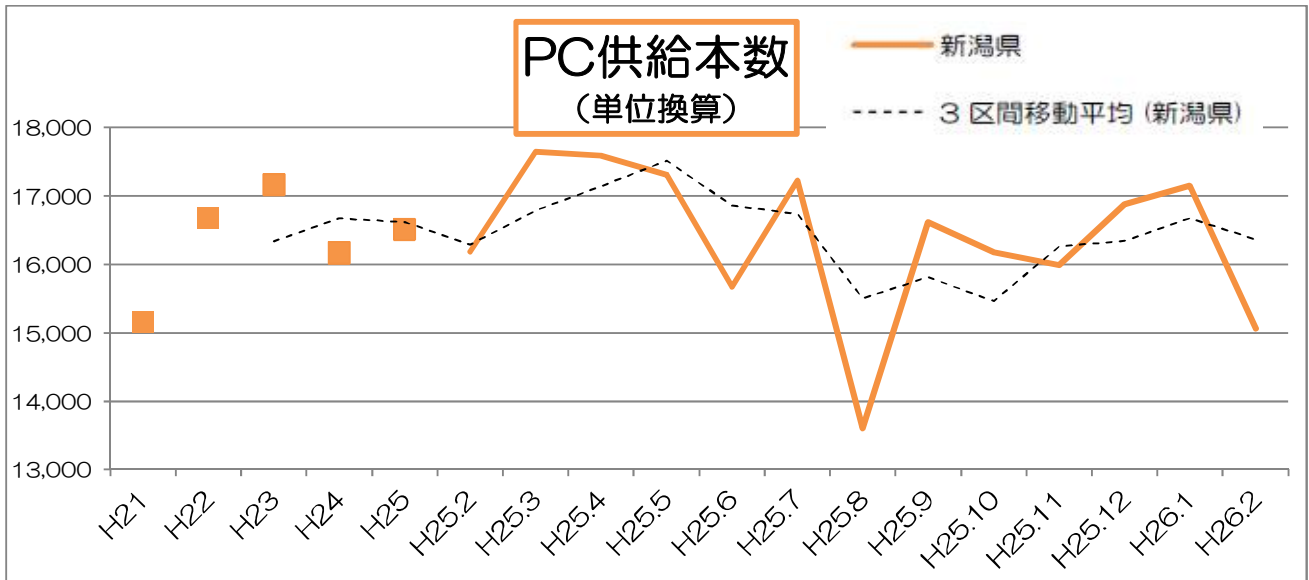
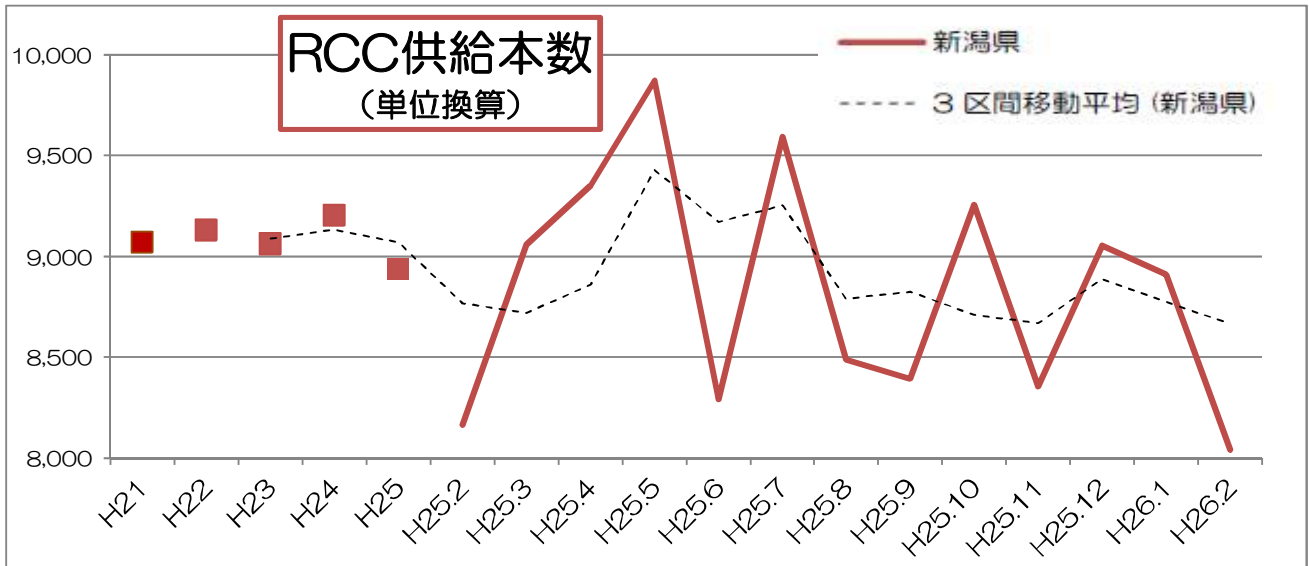


* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





H26 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆2 月の特徴：2 月は日数が少ないので全体に減少傾向である。赤血球製剤の使用量は B 施設の内科で減少、血小板製剤は A 施設の内科で減少、血漿製剤は血漿交換が増加しているが使用量は減少した。赤血球製剤の廃棄に減少が見られ、特に C・D 施設では廃棄量が先月の半分以下と顕著。大雪による流通の影響が一部にあったと考えられる。

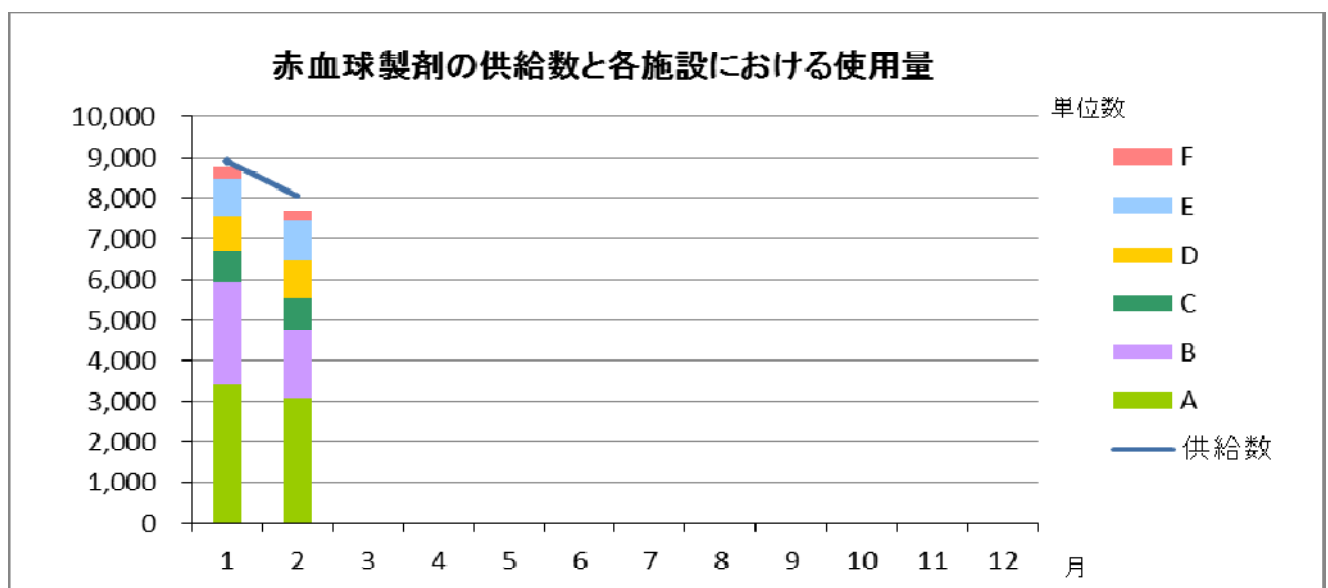
施設規模(一般病床数による)		施設数	病床数
A	500床以上	6	3,562
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	9	2,226
E	100～199床	23	3,674
F	0～99床	32	1,626
計		82	15,496

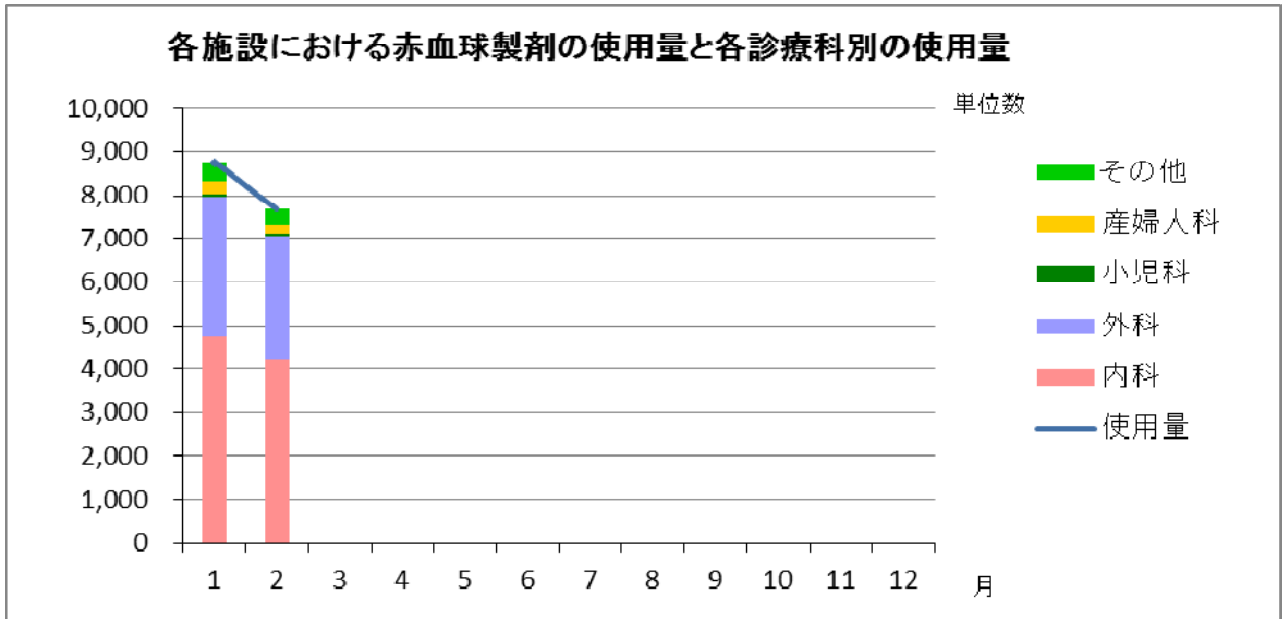
○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,057	1,551	1,035	61	114	296	3,057	100.0
B	1,698	963	717	0	18	0	1,698	100.0
C	775	469	275	0	11	20	775	100.0
D	962	502	384	0	40	36	962	100.0
E	941	561	364	0	8	8	941	100.0
F	245	172	73	0	0	0	245	100.0



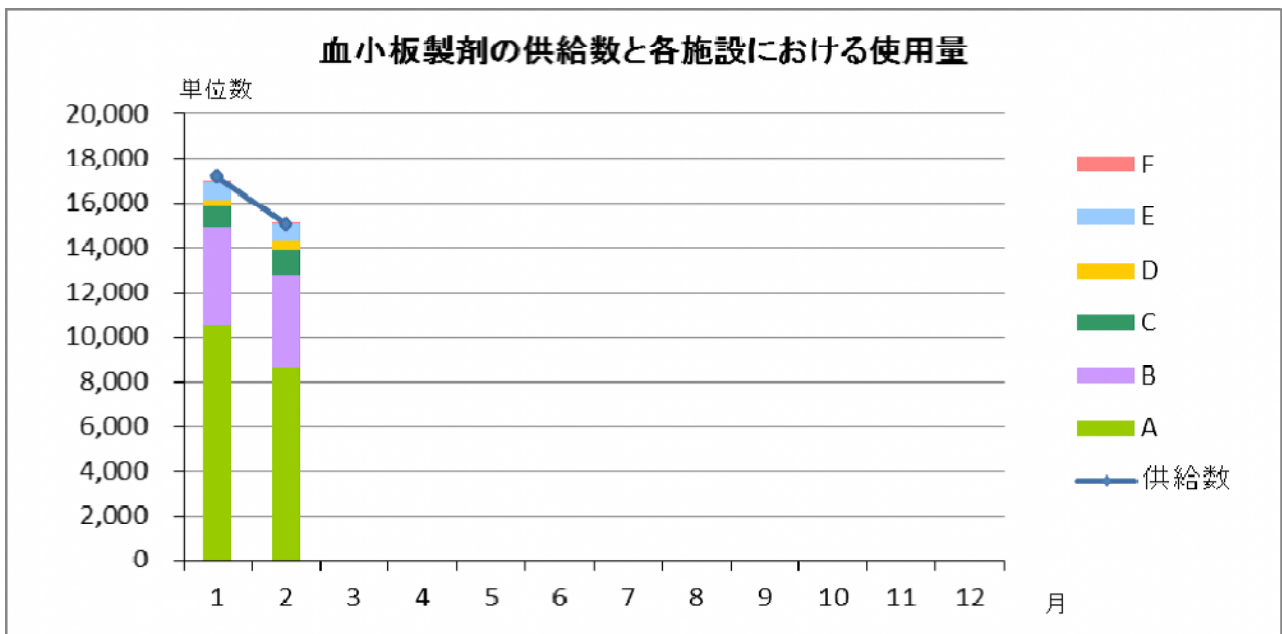


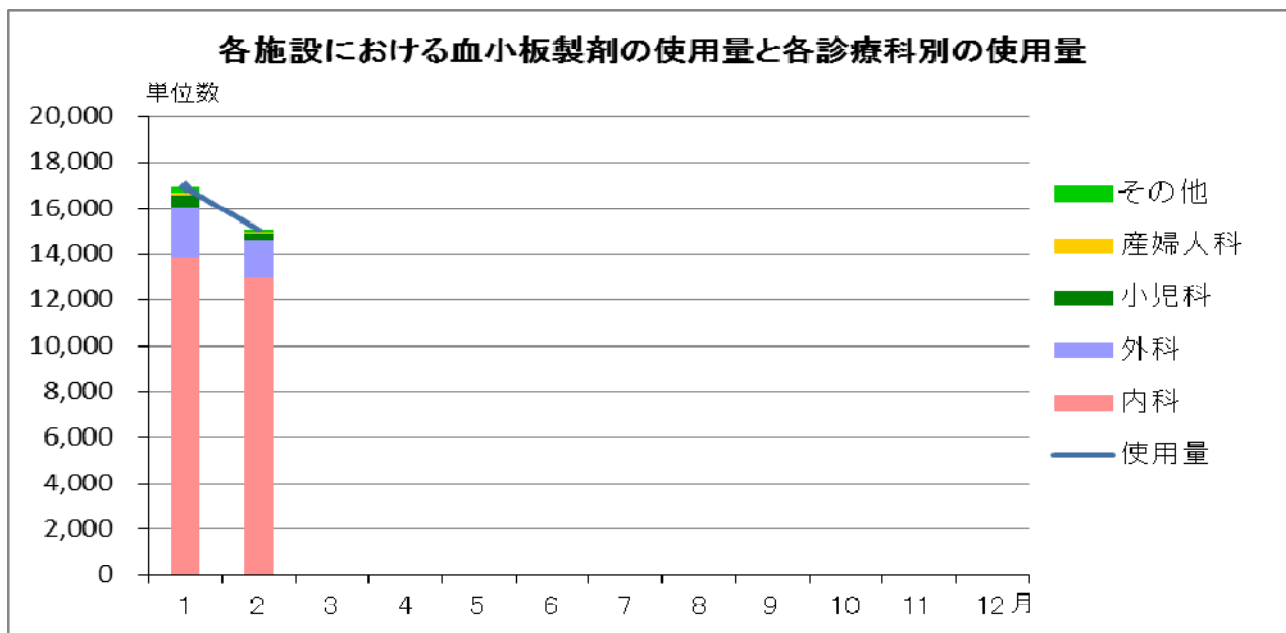
○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	8,613	7,402	740	321	30	120	8,613	100.0
B	4,225	3,580	625	0	20	0	4,225	100.0
C	1,020	950	70	0	0	0	1,020	100.0
D	455	335	100	0	20	0	455	100.0
E	745	690	55	0	0	0	745	100.0
F	40	40	0	0	0	0	40	100.0



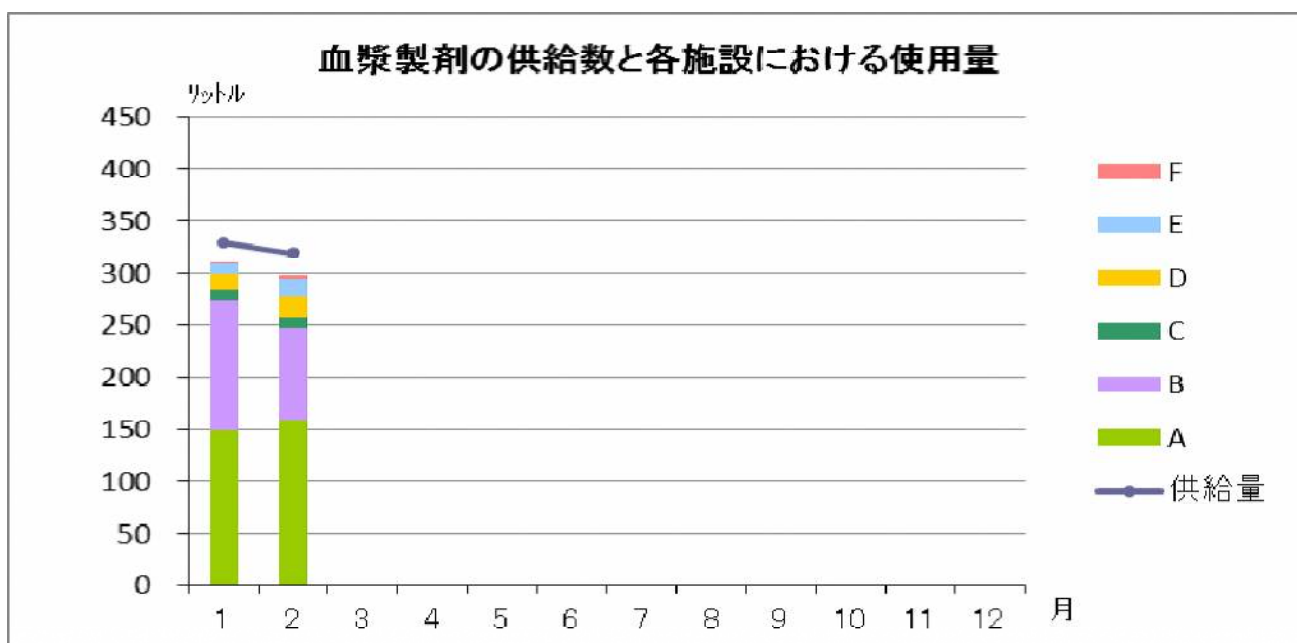


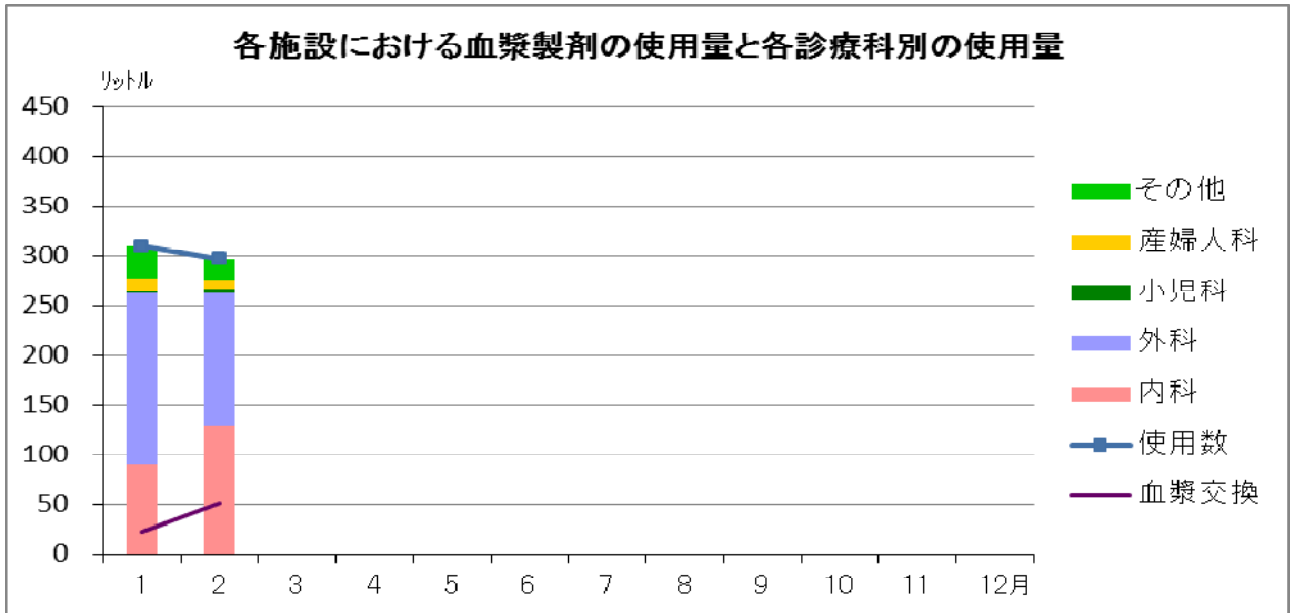
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	血漿交換	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
			内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	158.8	27.8	72.8	62.2	3.1	1.9	18.7	158.8	100.0
B	88.9	23.0	33.4	53.5	0.0	2.0	0.0	88.9	100.0
C	9.4	0.0	4.0	4.3	0.0	1.1	0.0	9.4	100.0
D	21.2	0.0	8.8	5.3	0.0	5.0	2.2	21.2	100.0
E	16.3	0.0	8.2	8.2	0.0	0.0	0.0	16.3	100.0
F	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	100.0



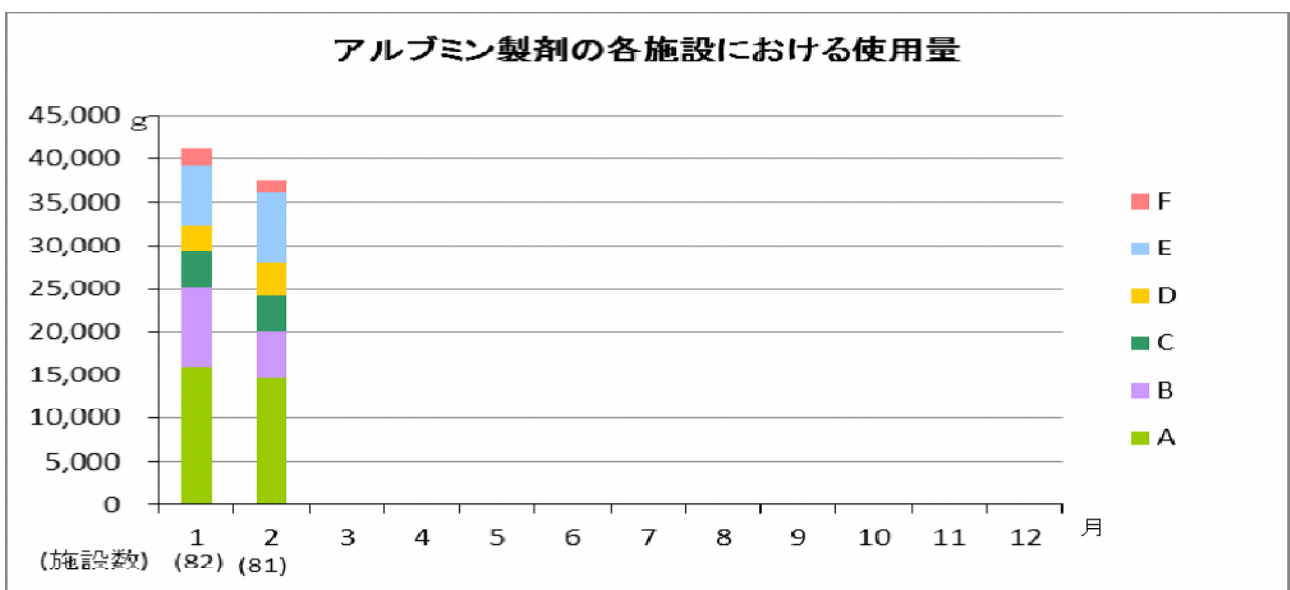


○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- * 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- * 他の血液製剤と異なり全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみ表示
- * () 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (6/6)	14,607.5	3,007.5	3,417.5	135.0	510.0	387.5	7,457.5	51.1
B (4/5)	5,450.0	2,175.0	3,250.0	0.0	25.0	0.0	5,450.0	100.0
C (7/7)	4,168.5	2,412.5	1,645.0	0.0	48.5	62.5	4,168.5	100.0
D (9/9)	3,835.0	2,223.7	798.8	0.0	50.0	0.0	3,072.5	80.1
E (23/23)	8,053.5	5,285.0	1,928.5	0.0	75.0	140.0	7,428.5	92.2
F (32/32)	1,485.5	942.5	533.0	0.0	0.0	0.0	1,475.5	99.3

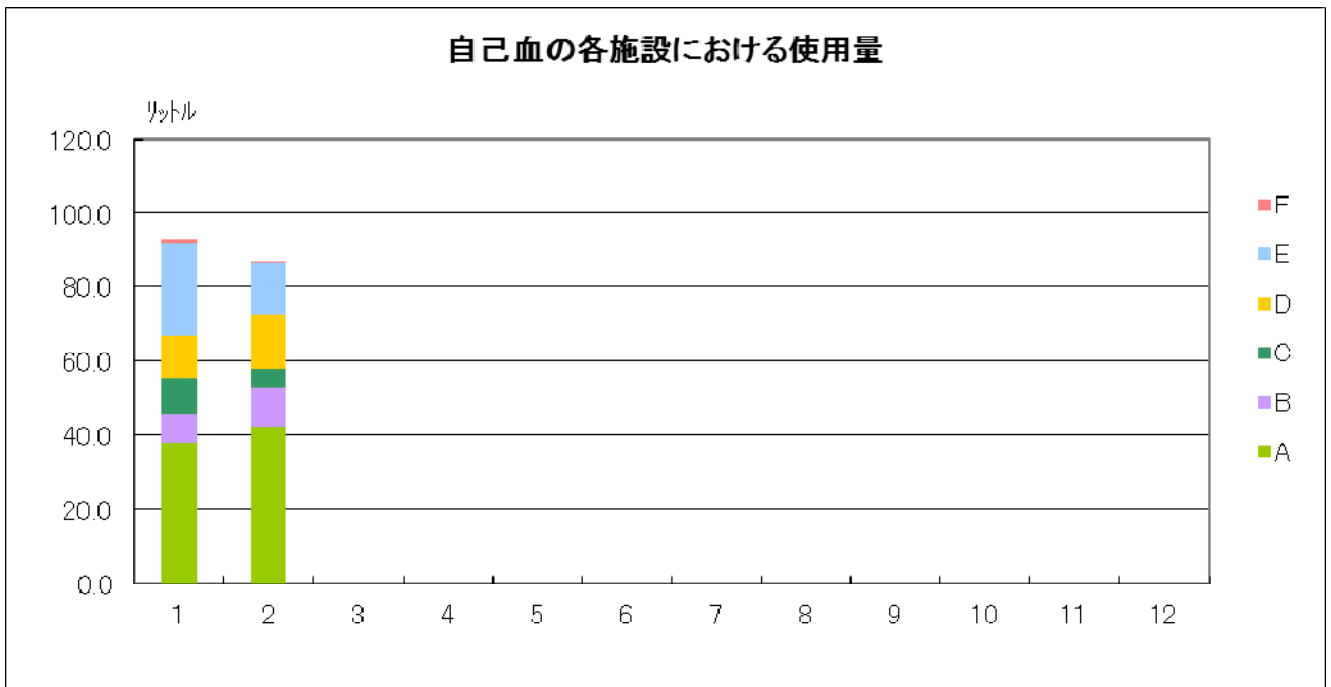


○自己血

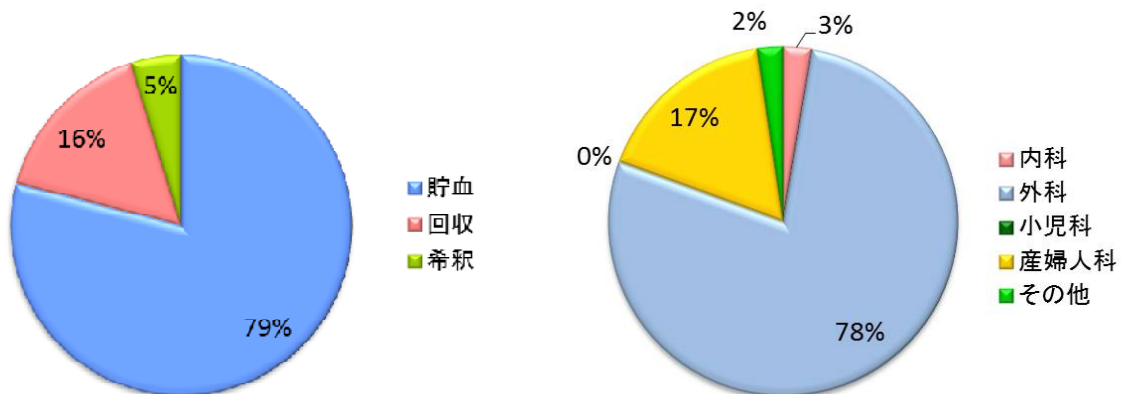
自己血の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計		
A	29.7	8.5	4.1	42.3	1.0	29.0	0.0	12.3	0.0	42.3	100.0	
B	8.2	2.9	0.0	11.1	0.8	9.1	0.0	1.2	0.0	11.1	100.0	
C	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	100.0	
D	11.8	2.7	0.0	14.5	0.0	12.5	0.0	0.0	2.0	14.5	100.0	
E	13.9	0.0	0.0	13.9	0.4	9.5	0.0	0.8	0.0	10.7	76.9	
F	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	100.0	
計	68.7	14.1	4.1	86.9	2.2	65.3	0.0	14.3	2.0	83.7	96.3	



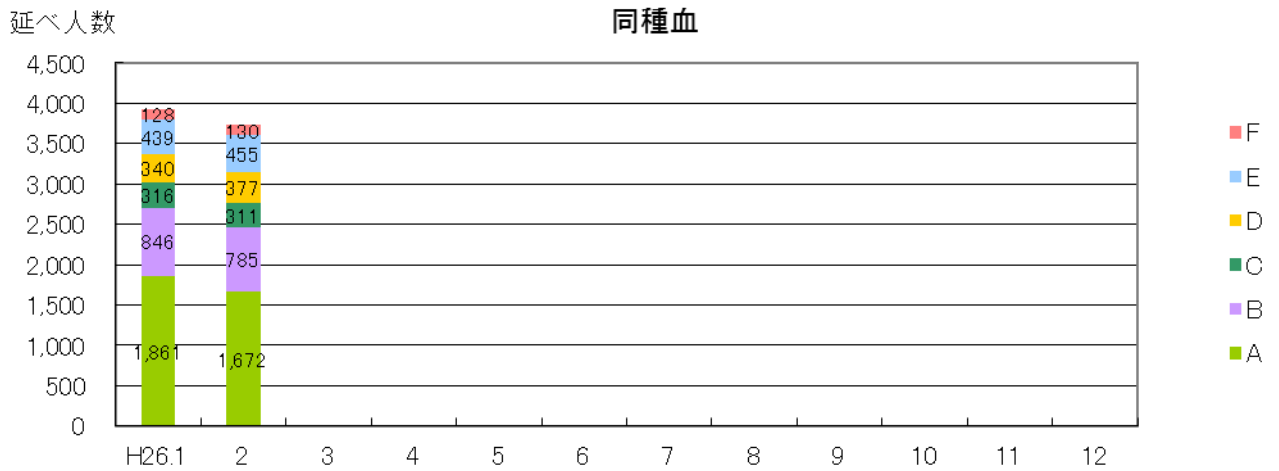
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

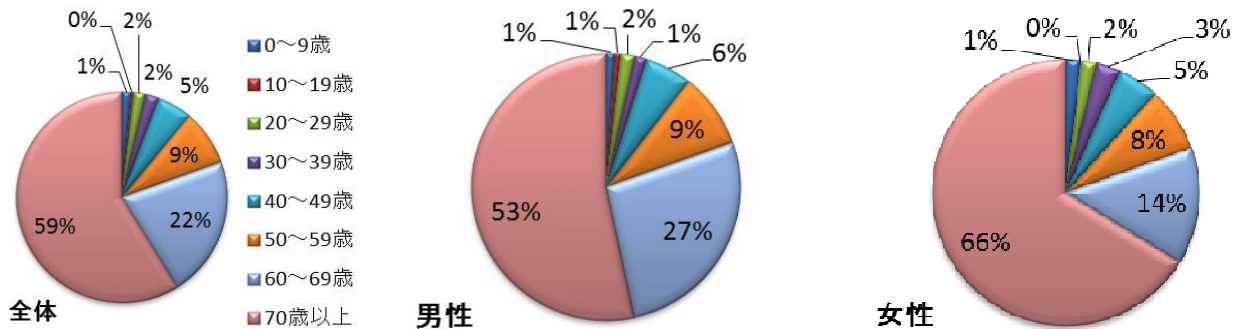
2月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,672	785	311	377	455	130	3,730
1床あたり	0.47	0.37	0.14	0.17	0.12	0.08	0.24
自己血	81	17	10	30	25	1	164
アルブミン	477	250	234	197	290	40	1,488

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出された 58 施設分のみ）

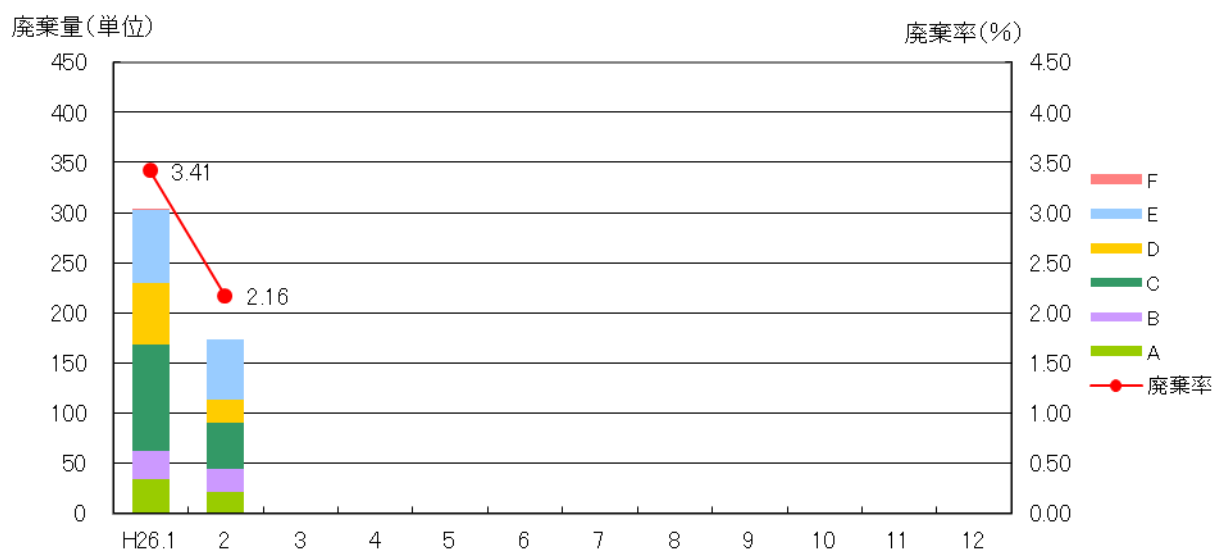
2月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	15	10	25	22	83	132	397	781	1,465
女	19	1	20	32	54	84	152	711	1,073
計	34	11	45	54	137	216	549	1,492	2,538



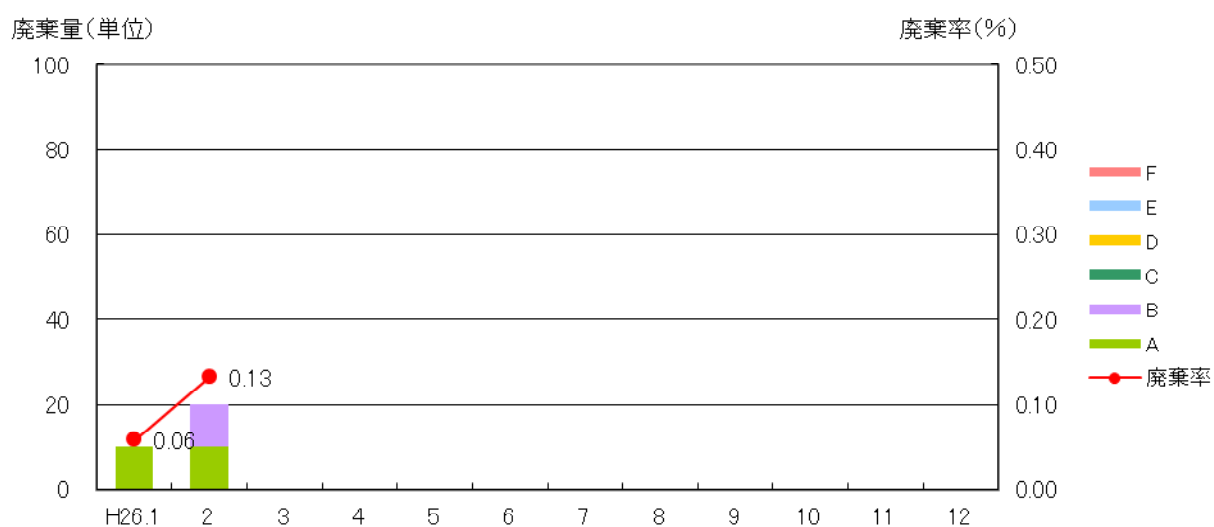
○血液製剤及び自己血の廃棄率

2月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	22	22	47	23	60	0	174
血小板製剤(単位)	10	10	0	0	0	0	20
血漿製剤(リットル)	2.3	0.5	1.7	0.0	1.4	0.0	5.9
自己血(リットル)	0.8	1.2	2.0	0.0	1.2	0.0	5.2

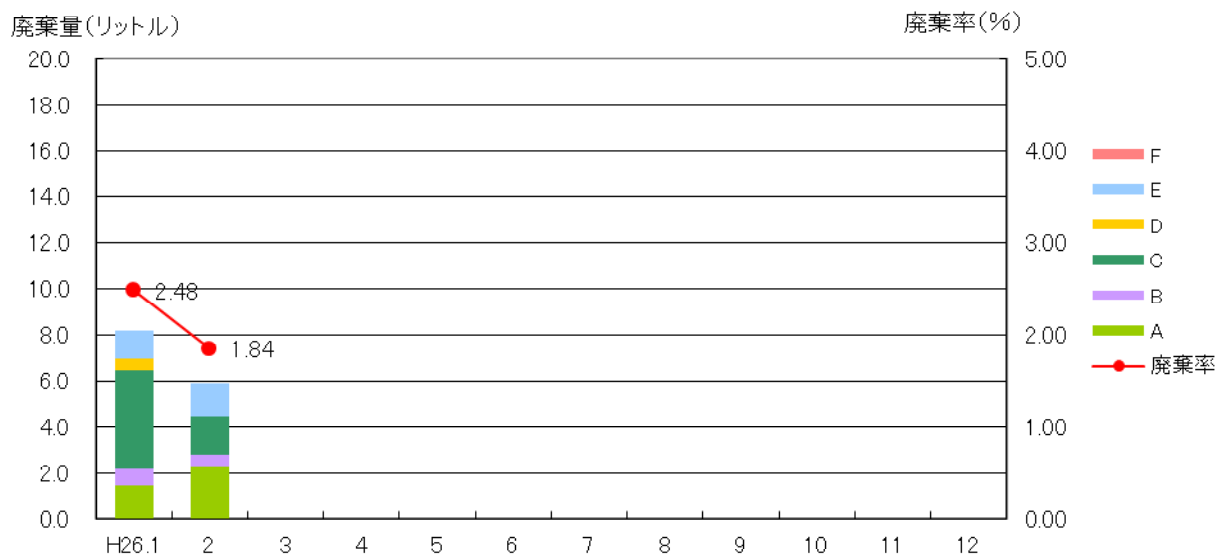
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量

